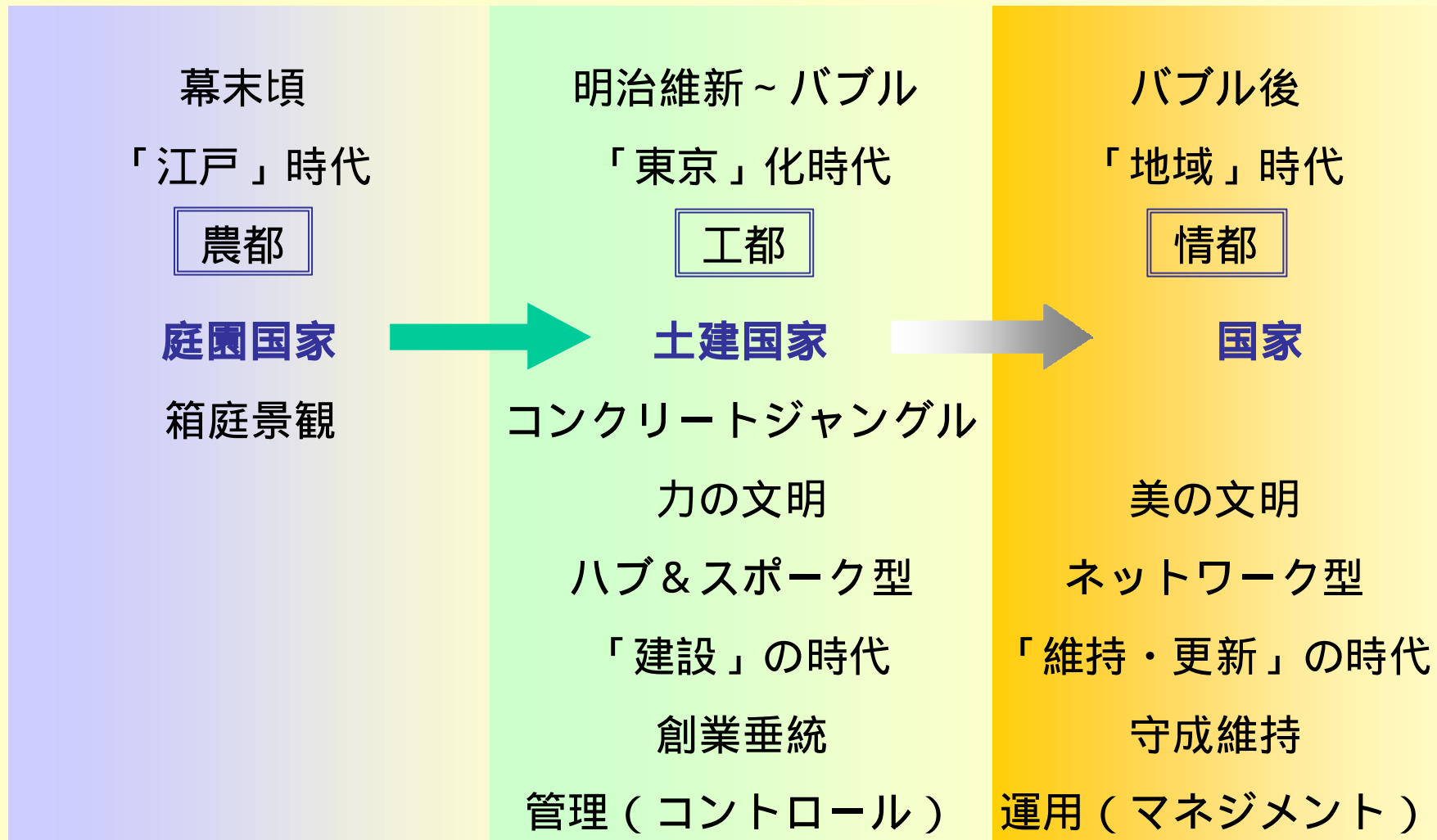




“つく”ってではない！
まちを育む

株式会社アイ・エス・エス 中村 裕司

国土マネジメントの変遷



新しい国家をつくるために』(神原 英資 中央公論新社2002)
『嘆き日本の残像』(アレックス・カー 朝日文庫2000)
『美の文明』をつくる』(川勝 平太 ちくま新書2002)

「まちづくり」(1) 始まりは?

1963 (昭38) 年 名古屋市中区栄東
三輪田晴男さん (ふとん屋)

戦災復興土地区画整理事業による3m後退要請

地権者による共同建替構想

栄東地区全体の整備マスタープラン

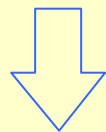
「まちづくり」の始め

「まちづくり」(2) 今は?

行政・事業主体側 が

公共事業の固いイメージをやわらげる ため

「まちづくり」を使いすぎる 結果



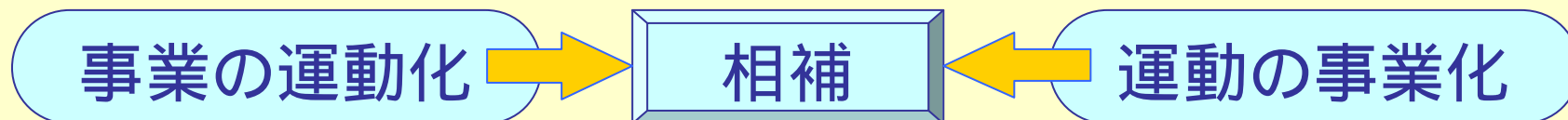
実態は、

市民参加とは無縁
基準通りの固いモノづくり

「まちづくり」は手垢にまみれてしまった

「まちづくり」 「まち育み」(1) 事業と運動

	事業（行政＝官）	運動（住民＝公）
中味	調査 上位計画との整合 当該計画の策定 直接的建設行為 間接的調整・管理行為	身近な環境への気づき 関心の高まり 改善への動き 周困への働きかけ 苦楽の分かち合い
性質	体系的 機能的・技術的 分担主義 静的・合理的	自発的 感覚的 非分担主義 動的・非合理的



「まちづくり」 「まち育み」(2) 官と公

- ✦ 「公」 = 「官」という勘違い
 - 「官」は「公」の重要な一部
 - 「官」をコントロールすべき「公」の存在
- ✦ 「公」とは？
 - 「公」 = 「民」 + 「官」
 - 具体的には？

議会
商工会議所
学識経験者
専門家

ジャーナリズム
地域有識者
NPO

「官」をモニターする「公」

「まちづくり」 「まち育み」(3)イメージのちがいは

まちづくり

“カタチ”（形）づくり
「事業・予算ありき」方式
モノ・カネ・セイド（制度）
一時的・閉じた関係
開発・ごうまん・押し着せ
手垢にまみれた

まち育み

“カチ”（価値）づくり
「人間・生活ありき」方式
ヒト・ココロ・イノチ
長期的・開かれた関係
持続・受容・自発
新鮮なひびき

まち育み(1) どんなもの?

そこに「住まい」、
そこに「暮らす」人々が、
その「たたずまい」について
いつも関われる状況をつくる

「まち育み」には“プロはいない”
誰もがプロデューサー（総合する人）
誰もがクリエイター（創造する人）
誰もがイニシエーター（始める人）
誰もがファシリテーター（促進する人）

「まちこわし」をもたらす
“従来型”事業主体・専門家を超える

まち育み(2)何がたいせつ? -四つの評価-

- | | | |
|------------|---|------------------|
| 【1】こどもの視点 | タンケン・ハッケン・ホットケン | 「予感」力 |
| 【2】自由と責任 | 個人の発現を町村に投影する自由
全体の制度を改善するプロセスへの責任 | 「たたずまい」
創出対話 |
| 【3】相補・協働 | 他者に向かって歩む
自分を開き他者を受容 | 「包み込み」
ネットワーク |
| 【4】意味のデザイン | “空間”ではなく“場所”を
“住まい方・暮らし方”を
“たたずまい”を | 「デザイン」力 |

まち育み (3) 例えば？

- きっかけを育む「仕掛け」 -

わがまち探検隊

“まち育み”演劇（ロールプレイ）

まち遊び

“まち育み”ビジョンゲーム（デザイン大会）

つぶやきヒアリング

物産ハッケン起業化大会



まち育みと風景 (1)今、「まち」に望むことは？

第1位 電線・電柱の地中化

第2位 緑豊かな公園や広場

第3位 建物のデザイン・色彩の調和

第4位 景観を楽しめる遊歩道

まち育みと風景 (2) 美しいまちに住む権利

美しいまちがある、まちを美しくしようとする意思がある

健全なコミュニティがある

コミュニティの運営に住民がいきいきと関われる

地域環境が保全できる

- ✦ 風景は「公」
- ✦ 風景は「市民利益」
- ✦ 風景は「ある」ものではなく「育む」もの
- ✦ 風景資産をさがそう、風景づくりプランをしよう、
界わい宣言をして風景を育てよう

まち育みと地域おこし(1) - こしかた -

これまで

まちづくり

+

再開発・区画整理

地域固有の個性を殺す

目指すべき空間の具体的なイメージが明確でない

単年度主義

事務的手続が煩雑

地域化時代と逆流

まち育みと地域おこし(2) - ゆくすえ -

これから

まち育み

+

地域おこし

定住人口より交流人口を増やす

そのために

地域内産業の循環

地場産業の育成

地域雇用の増大

高質な田園資産を守る（コンパクト・シティ）

そのために

市民社会的な意思決定

地域における生きがい活動

個人のアイデンティティを町村で

まち育みと地域おこし(3)

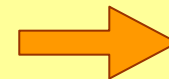
- コミュニティ・ビジネスのすすめ -

コミュニティ・ビジネスとは

既存の産業を再建し、その中から新産業を創出する

コミュニティ・ビジネスの特徴

住民主体・地域密着
適正規模・適正利益
営利とボランティアの中間ビジネス
ローカル、開放型



スロービジネス

コミュニティ・ビジネスの役割

地域の問題解決
地域の雇用の創出
地域住民のコミュニケーション
生きがいの創出

まち育みと地域おこし(4) - 実例 -

場所	人口	地域おこし	事業主体
岡山県赤坂町	5,500人	赤坂天然ライス (炊飯加工工場の運営) 年商33億円	第三セクター 赤坂町51% 民間三社49%
北海道由仁町	6,900人	ハーブのある町づくり (ハーブガーデンの運営)	第三セクター 由仁町51% JA11% 民間38%
滋賀県新旭町	11,600人	スロータウン構想 ・線'sプロジェクト ・古代米 ・チョウザメ養殖	不明



まとめ

まち育み

風景育み

= 美しいまちに住まう権利

地域おこし

= コミュニティビジネスにより
生きがい活動